

平成 26 年度 中信高等学校総合体育大会 柔道競技 実施要項

種 目	柔道
期 日	平成 26 年 5 月 17 日(土)
会場・時間	松本市柔剣道場 17 日(土) 計量 8:30 審判監督会議 9:00 開会式 9:30
参加資格及び参加制限	<p>・高体連に登録済みであること。</p> <p>① 男子団体試合 1 校 1 チーム、監督 1 名、選手 5 ～ 8 名をエントリーする。 (最低 5 名のエントリーが必要)</p> <p>② 女子団体試合 1 校 1 チーム、監督 1 名、選手 3 ～ 6 名をエントリーする。 (最低 3 名のエントリーが必要)</p> <p>③ 男子個人(各校各級人数制限なし) 6 0 kg ・ 6 6 kg ・ 7 3 kg ・ 8 1 kg ・ 9 0 kg ・ 100kg ・ 100kg 超 (7 階級)</p> <p>④ 女子個人(各校各級人数制限なし) 4 8 kg ・ 5 2 kg ・ 5 7 kg ・ 6 3 kg ・ 7 0 kg ・ 7 8 kg ・ 7 8 kg 超 (7 階級)</p> <p>⑤そのほか、以下の点に留意すること。</p> <p>ア 新入生の大会参加について 新入生の練習及び大会参加については、事故防止、安全確保について十分に留意し考慮すること。尚、本年度 4 月より柔道を始めた生徒については、本年度の県総体予選会へは参加不可とする。</p> <p>イ 脳震盪について 大会前 1 ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け、出場の許可を得ること。大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(尚至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。当該選手の指導者は、大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。</p> <p>ウ 皮膚真菌症について 皮膚真菌症(トリコフィト・トズラス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認する。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において適格な治療を行う。もし、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、原則として大会への出場を禁止する。(ただし、2 週間以内の治療証明書がある場合は出場を認める。)</p>
競技規則及び競技方法	<p>(1) 国際柔道連盟試合審判規定および、全国高体連柔道専門部申合せ事項による。</p> <p>(2) 試合時間は団体・個人とも 4 分とする。</p> <p>(3) 団体試合の判定基準は「有効」「指導の差 2」以上とする。個人試合及び団体戦代表戦において優劣(スコアも「指導」も同等)が決しない場合は、延長戦をゴールデンスコア方式(時間無制限)で行う。</p> <p>(4) 出場校数、参加選手数によって競技方法を決定する。</p>
県大会	<p>・団体戦(男子上位 8 チーム、女子上位 4 チーム)</p> <p>・個人戦(男女各階級 8 位まで)</p> <p>・参加料 1 名につき 1000 円</p>
申し込み方法と参加料	<p>① 認知書へは、A 欄に個人戦出場階級を軽い階級から記入、B 欄に個人戦出場階級校内シード順、C 欄に団体、D 欄に段位を記入する。</p> <p>② 身長、体重を記入すること。</p> <p>③ オーダー提出(専門部受付)は開会式終了後直ちに提出すること。</p> <p>・男子団体 選手 5 名(出場順) 補欠 1 名</p> <p>・女子団体 選手 3 名(出場順) 補欠 1 名</p> <p>④ 団体戦参加チームにおいては、試合当日までに掲示用オーダー票を提出すること。 (学校名：B5 縦書き 選手名：B5 縦の 1/2 縦書き)</p>